

結果の概要

1 労働争議の種類別の状況

令和6年の労働争議の状況をみると、「総争議」の件数は278件、総参加人員は95,325人となっており、前年に比べ、件数は14件（4.8%）減、総参加人員は5,928人（5.9%）減となった。「総争議」の件数は長期的には減少傾向で推移してきたが、令和元年以降は横ばい圏内で推移している。

「争議行為を伴う争議」の件数は76件、行為参加人員は8,982人となっており、前年に比べ、件数は1件（1.3%）増、行為参加人員は568人（6.8%）増となった。（第1表、第1図、10頁附表）

第1表 労働争議の種類別件数及び参加人員の推移

年次	総争議		争議行為を伴う争議			争議行為を伴わない争議	
	件数	総参加人員	件数	総参加人員	行為参加人員	件数	総参加人員
令和2年	303	57,426	57	32,436	6,013	246	24,990
3	297	60,389	55	38,540	7,858	242	21,849
4	270	53,519	65	37,881	6,447	205	15,638
5	292	101,253	75	80,300	8,414	217	20,953
6	278	95,325	76	59,373	8,982	202	35,952
令和6年の 対前年増減数 (件・人)	△14	△5,928	1	△20,927	568	△15	14,999
令和6年の 対前年増減率 (%)	△4.8	△5.9	1.3	△26.1	6.8	△6.9	71.6

第1図 労働争議の種類別件数の推移

